保証規定

■保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1. 保証期間：製品の納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2. 保証内容：期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3. 適応除外：期間中であっても、下記の場合には適応いたしません。

（1）純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。

（2）使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。

（3）製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液剤を使用されて生じた故障。

（4）弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。

（5）製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。

（6）パッキン、Oリングなどの消耗部品の摩耗。

（7）お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。

（8）火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。

（9）不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、
指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。

（10）定格値を超える電源にて使用された事により発生した故障及び損傷。

（11）過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適当な油脂を使用された場合の故障。

（12）日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4. 補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年とさせていただきます。製造打ち切り後５年を経過したものにつきましては、提供いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社 ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143-8504 東京都大田区南馬込１丁目１番３号	TEL (03) 3777-4101 (代)	FAX (03) 3777-3328
札幌営業所	〒062-0002 札幌市豊平区美園二条６丁目３番16号	TEL (011) 821-0630 (代)	FAX (011) 821-0949
仙台営業所	〒981-3137 宮城県仙台市泉区大沢２丁目２番３号	TEL (022) 343-9410 (代)	FAX (022) 343-9411
東京営業所	〒143-8504 東京都大田区南馬込１丁目１番３号	TEL (03) 3777-3171 (代)	FAX (03) 3777-6770
名古屋営業所	〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰７番38号	TEL (052) 795-0222 (代)	FAX (052) 795-0444
大阪営業所	〒537-0025 大阪市東成区中道３丁目15番２号	TEL (06) 6971-5301 (代)	FAX (06) 6974-0497
広島営業所	〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央３丁目３番９号	TEL (082) 275-5852 (代)	FAX (082) 275-5853
福岡営業所	〒812-0888 福岡市博多区板付５丁目18番14号	TEL (092) 581-5477 (代)	FAX (092) 581-6524

2014.02

yamada

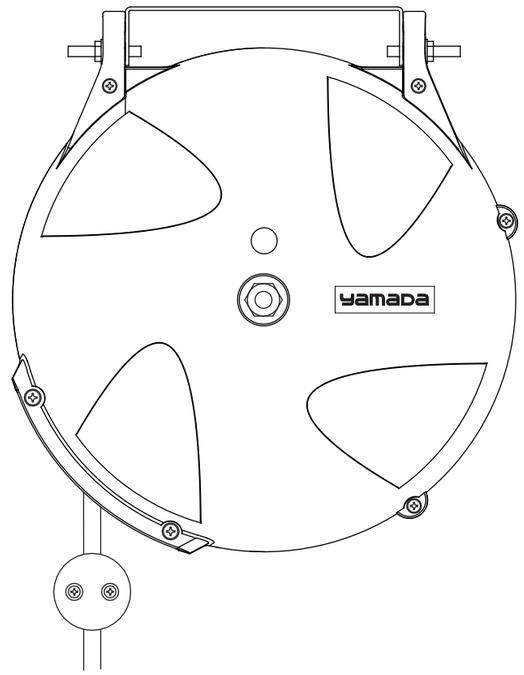
Doc.No. | HRS 021U-00

取扱説明書

制御リール

型式

686611 YR-4D08
686612 YR-6D08
686613 YR-9D08



INDEX

はじめに 2
安全上のご注意 2-3
製品内容の確認 4
各部の名称と役割 5
制御リール仕様 5
設置方法 6-7
ご使用方法 8-9
メンテナンス 10
故障と処置 11
保証規定 12

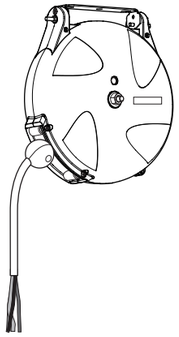
⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書を良く熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

はじめに

この制御リール取扱説明書では、ご使用にあたって注意していただきたいことや、基本的な使い方、および、より有効に活用する方法を説明しています。制御リールを正しくご使用いただくためにも、この取扱説明書をよくお読みください。読み終わった後は、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。



警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、破裂･破損などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、破裂やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

本製品を正しく安全 にご使用いただくために

⚠ 警告

当社の製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

■安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

■故障したら使わない

すぐに使用を中止し、お買い求めの販売会社に修理をご依頼ください。

■万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、製品や付属品が破損したとき

➡

❶接続機器を安全に停止させ、全ての電源を切ってください。

❷使用を中止して、お買い求めの販売会社および、接続している機器の販売会社に修理をご依頼ください。

❸修復を完全に行うまでリールのご使用を中止してください。

安全上のご注意

⚠ 警告　⚠ 注意　火災　感電　下記の注意事項を守らないと火災･感電などにより死亡や大けがの原因となります。

■取扱説明書をよく読み理解したうえで使用する

誤使用により、思わぬ事故の可能性があります。

取扱説明書を読む

■本機は屋内仕様です

屋外で使用しないでください。漏電、さび、腐食などで火災や感電、故障や異常動作の原因となることがあります。

指示

■子供や幼児の届かない場所に設置する

ケガや事故の原因となります。

禁止

■油煙、湯気、湿気、水気、ほこりの多い場所や高温になる場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、故障や破損、けがの原因となることがあります。

禁止

■コードを傷つけない

コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- コードを加工したり、傷つけたりしない。
- コードを無理に折り曲げたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。

万一、コードが傷んだら、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売会社に交換をご依頼ください。

禁止

■内部に水、オイルや異物を入れない 外装に水、オイルや異物を付着させない

内部に水や異物が入ったり、外装に水や塗装ミストなどの異物が付着すると火災や感電、故障の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに接続された機器を外して、お買い求めの販売会社に点検･修理をご依頼ください。

分解禁止

■分解、改造および修理技術者以外による修理はしない

内部には電圧の高い部分があり、本体をむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電、異常動作の原因となることがあります。

製品には強力なゼンマイが内蔵されています。部品等が弾けて、けがをするおそれがあります。

内部の点検、修理はお買い求めの販売会社にご依頼ください。

定格を守る

■必ず仕様を守り、定格容量を超えて使用しない

製品の仕様をご確認のうえ、ご使用ください。リール本体、コードおよび接続された機器が故障したり、火災や感電の原因になるおそれがあります。

接続された機器が正しく動作しない場合があります。

■先端に接続した器具を落とさない

器具が破損･消耗し、接続機器の異常動作により、死亡やけがの事故につながる可能性があります。

禁止

■落雷の恐れがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電したり本機が故障することがあります。

禁止

雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグをコンセントから抜いて、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

■本機は日本国内専用です

指定された電圧でお使いください。海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電、故障の原因となることがあります。

指示

■不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置･取付場所の強度も十分にお確かめください。

禁止

■お手入れの際や長期使用しない場合は、機器の回路を断ってください

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

長期使用しない場合は、安全のためコンセントからプラグを抜いてください。

指示

■直接日光の当たる場所や熱器具近くに設置･保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

禁止

■警告ラベルは大切に使用してください

はがれや汚損、劣化した場合はお買い求めの販売会社からご購入のうえ、正しく貼付してください。

指示

■接続する機器の仕様を十分ご確認ください

使用する機器およびこの製品の適正に合った機器以外は接続しないでください。
接続の際には、使用する機器の販売会社または製造メーカーに必ずご相談のうえ、制御リールに接続してください。その際、接続する機器を十分理解した方が行ってください。事故を起こす可能性があります。

禁止

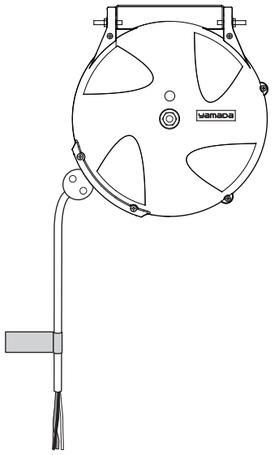
製品内容の確認

箱の中に同梱品（本体、付属品）がすべて揃っているか確認してください。

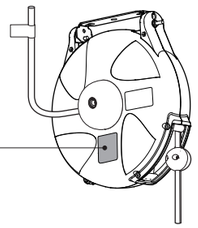
☑チェックすると便利です。

●本体

□ 本体



□ 警告ラベル
（コード部）



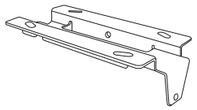
□ 警告ラベル
（本体裏面）

●付属品

□取扱説明書

1冊

□取付ベース

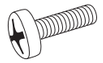


1個

□スプリングナット
（M6）

4個

□十字穴付ナベ小ネジ
（M6×20mm）



4個

□スプリングワッシャー
（M6）

1個

□蝶ナット
（M6）

1個

□丸型端子

YR-4D08の場合　4個
YR-6D08の場合　6個
YR-9D08の場合　9個

□C-10またはC-12ケーブルブッシング

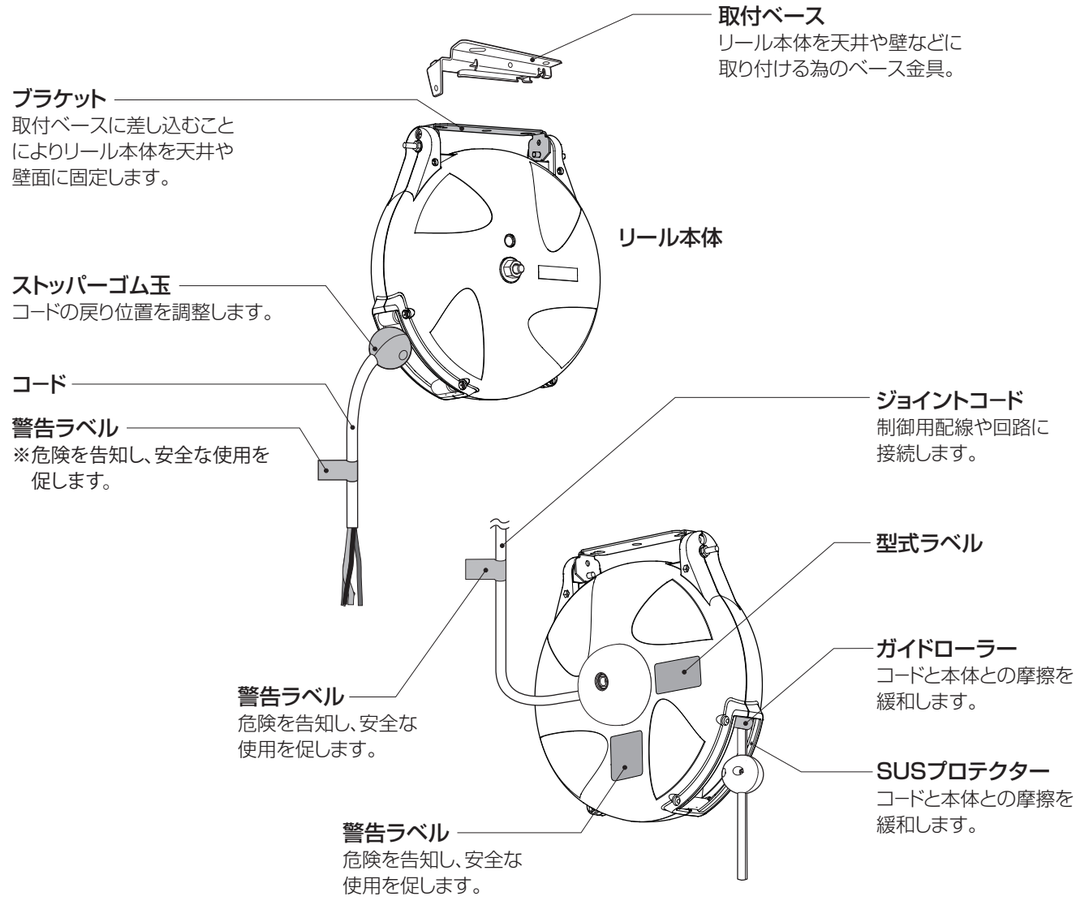
1個

⚠注意

■お手元に届きました製品は、付属品を除き、完全に組み立てられています。取り付け前にリール本体の仕様と損傷の有無、付属品の欠品の有無を確認してください。

■警告ラベルは大切に使用してください。はがれや汚損、劣化した場合はお買い求めの販売会社からご購入のうえ、正しく貼付してください。

各部の名称と役割



■制御リール仕様

製品名	制御リール		
型式	686611　YR-4D08	686612　YR-6D08	686613　YR-9D08
リール設置場所	屋内		
断面積（mm）×心数	0.75×4	0.75×6	0.5×9
コード全長（m）	8.0		
ジョイントコード	差し込み型ピン端子付き　長さ:0.8m		
定格電圧 / 定格電流	AC/DC24V/0.5A		
使用温度範囲	−5℃〜+50℃		
本体重量（kg）	3.8	3.9	4.0
標準付属品	取付ベース板一式、C-10またはC-12ケーブルブッシング、丸型端子		

※改良のため仕様など予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

設置方法

この項の設置方法は、リール取付および、接続機器の接続を行う工事会社の方を対象にしています。

■設置に必要な道具

- **●高所作業リフトまたは安定した足場**
- **●スパナ（10mm）**
- **●プラスドライバー**

⚠ 警告　⚠ 注意　🔥 火災　⚡ 感電

下記の注意事項を守らないと事故･火災･感電などにより死亡や大けがの原因となります。

■組立･設置の際、作業者が取るべき安全対策を徹底してください

指示

- リールの取り付けが高所作業になる場合は、必ず安全ヘルメットを着用し、落下防止の安全帯を使用してください。
- リールの取り付けにハシゴや脚立の使用はしないでください。必ず安全に作業できる高所作業リフトや足場を設置してください。リールおよび作業工具の落下防止を図ると共に、作業中は取付場所の真下への立ち入りを禁止してください。

■設置（据付）および移設について

指示

- 本製品の設置（据付）および移設はお買い求めの販売会社へご依頼ください。移設の場合は販売会社による点検を実施してください。
- 設置場所は十分な強度を確保し、落下・揺れなどがないよう十分考慮してください。
- 取付場所付近までジャンクションボックス等設備の施工を行ってください。施工は、ジョイントコードの長さを5ページの「仕様」でご確認いただいた上で、コードに余裕ができる位置にお願いいたします。
- 機器の接続は制御対象の機器についても十分理解した方にご依頼ください。

■不適当な組立･設置についての警告

注意

- 制御用配線とジョイントコードの端子を接続する際は、締め付けを確実に行ってください。
- リールの接続･絶縁が不十分だと接続が外れ、漏電の原因となります。
- 取付ベースにリールを差し込み後は、必ず付属のスプリングワッシャーと蝶ナットでリールを固定してください。
- リールの固定を忘れると、リールの落下など重大な事故の原因となります。

■定格についての警告

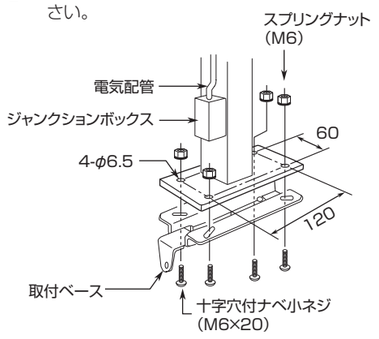
注意

- 定格容量以上の操作回路を接続しないでください。火災や感電、故障や異常動作の原因となることがあります。

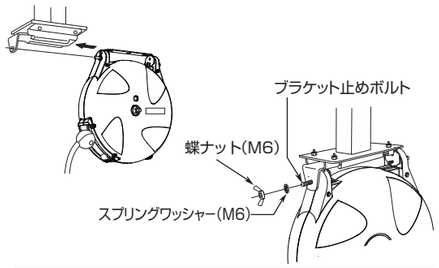
■天井取付の場合

●記載された取付場所は一例です。

1. 付属の取付ベースを取付場所に固定するときは、十分な強度を確保し、落下しないよう確実に固定してください。

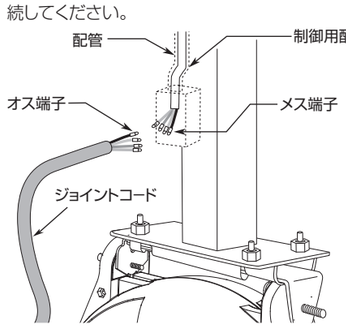


2. 取付ベースを固定した後、下図のようにリールを取付ベースに差し込み、取付ベースから出た先端のブラケット止めボルトに付属品のスプリングワッシャー（M6）を入れ、蝶ナット（M6）で確実に締め込んでください。



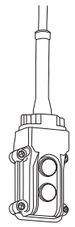
■固定した後は、しっかりと固定できているかを再度確認してください。

3. リールを確実に固定してから、ジョイントコードのメス端子と、オス端子を接続した制御用配線を、確実に接続してください。



■絶縁処理を確実に行ってください。

4. ケーブル先端の結線は適正な端子や器具を使用してください。接続方法は、接続する器具および機器の取扱説明書を良くお読みいただき接続してください。

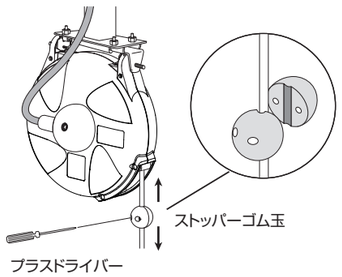


スイッチボックス（オプション）

スイッチボックスご使用の際はP10「スイッチボックス接続方法」をご覧ください

■絶縁処理を確実に行ってください。

5. 最後に、ストッパーゴム玉を使用状況に合わせて調整します。ストッパーゴム玉の固定ビスをゆるめ、希望する長さの位置にストッパーゴム玉を移動して調整してください。その後ゆっくりと全引き出し/全戻しを行い、動作に問題がないか確認してください。これで取付完了です。



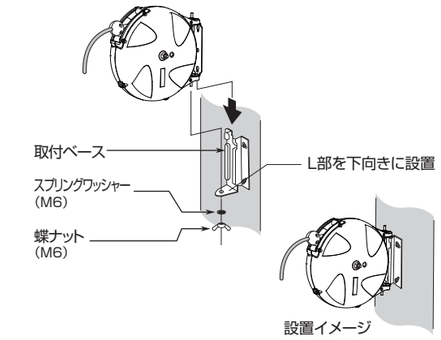
6. 最期に、安全を確認したうえで、接続されている機器の主電源を入れ、動作を確認してください

■動作の確認は、接続機器の取り扱いを十分理解された方が行ってください。

■壁面取付の場合

●記載された取付場所は一例です 。

付属の取付ベースを取付場所に固定するときは、十分な強度を確保し、落下しないよう確実に固定してください。（L部を下向き）

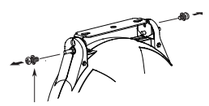


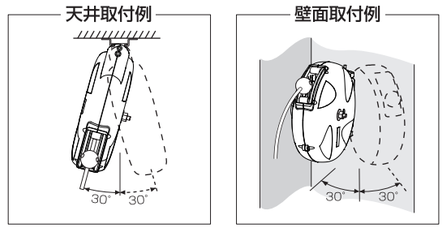
■取付ベースを壁面に取り付け、リールを差し込んで付属のスプリングワッシャー（M6）および蝶ナット（M6）で確実に固定してください。

以下「天井取付の場合」の**3.4.5.6.**を参照してください。

■首振りの場合

リールの首振りを使用する場合は、本体ブラケット上部の十字穴付ナベ小ネジ（M6×15）2本を外してください。





■首振りさせた際、ジョイントコードが引っ張られないよう余裕をもって接続してください。

■首振りの際、本体が壁や設備、人などに当たらないようにしてください。

壁面取付で、低い位置に設置されている場合などは、首振りが便利です。

ご使用方法

⚠警告

注意　火災　感電

下記の注意事項を守らないと事故･火災･
感電などにより死亡や大けがの原因となります。

■制御リールのご使用は、接続した機器の取り扱いに十分理解されたうえでご使用ください
取り扱いの不備により、死亡や大けがなどの事故につながる可能性があります。

■始業点検および終業点検を説明書の本文に従って必ず実施してください
特にコードのキズ・変形・摩耗および汚れがないことを確認してください。

■制御リールを機器の制御以外の目的に使用しないでください
目的以外の使用は、本体の破損や故障の原因になり、けがや施設･設備等の損傷をまねくおそれがあります。

■コードに負荷のかかる使用は避けてください
本体やコードの破損や故障の原因になります。

■コード出口の中には絶対に手をいれないでください
大けがをするおそれがあります。

■コードには絶対ぶらさがらないでください
リールの落下、本体の破損や故障の原因になり、けがや設備等の破損をまねくおそれがあります。

■先端に接続した器具を落とさない
器具が破損・摩耗し・接続機器の異常動作により死亡やケガなどの事故につながる可能性があります。

■メンテナンスを行ってください
日常のお手入れや定期点検を行ってください。

■定格容量を超えて使用しないでください
必ず製品の仕様を確認し、ご使用ください。

■その他の注意
使用方法などで不明な点のある場合は、使用を中止し、お買い求めの販売会社へお問い合せください。
また、リール本体やコードに異常が見られる場合は使用を中止してください。

■下記の点に留意し安全な作業をお願いします

1. 始業点検

毎日、作業前に必ず始業点検を行ってください。

点検箇所	内容	点検方法
コード	変形･破損･摩耗はないか	目視
	汚れ(水･油･泥)はないか	目視／掃除
	引き出し･巻き取りはスムーズか	目視
スイッチボックス部	変形･破損･摩耗はないか	目視
	汚れ(水･油･泥)はないか	目視／掃除
接続機器の動作	機器が正しく動作しているか	動作確認／目視

⚠警告　異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでリールの使用を中止して直ちにお買い求めの販売会社に連絡してください。そのままお使いになるとリールの破損および重大な事故につながる危険性があります。

2. 終業点検

作業が終了したら、コードや接続機器部に付着した汚れ（水･ゴミ･油など）をきれいに拭きとってください。この時何か異常が発見された場合、直ちにお買い求めの販売会社に連絡してください。

⚠警告　点検の際は接続機器を安全に停止させ、全ての電源を切ってから行ってください。

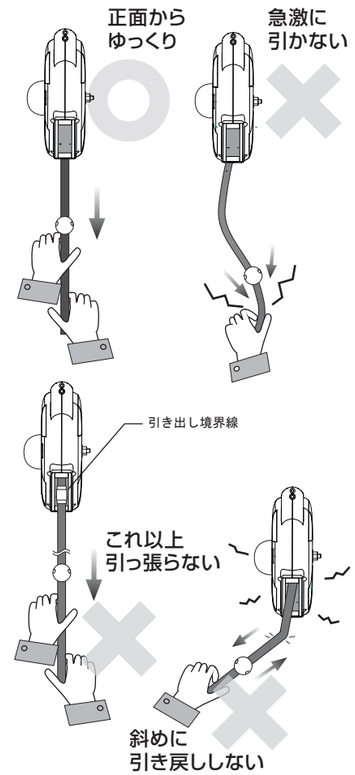
作業終了後は、接続機器の機能を全て切って終業してください。

3. 引き出し操作

コード出口に対し正面に立ち、両手でコードを掴んで希望する長さまでコードをゆっくり引き出します。ロックがかかったことを確認してから手を離し、使用してください。

もしその位置でロックがかからない場合には、さらに6～40cmゆっくりとコードを引き出してください。ロックがかかります。

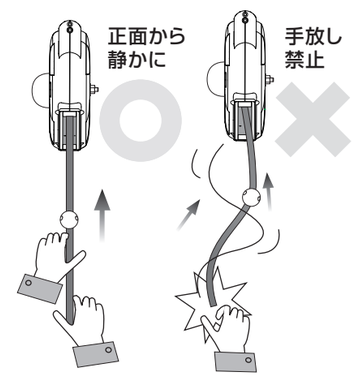
⚠注意
- ■コードを引き出す際には、必ずリール正面から静かに引き出してください。リール横方向に引くと本体に負荷がかかり、コードやリール取付部が破損し落下するおそれがあります。
- ■引き出し限界線以上はコードを引き出さないでください。
※強く引かなくてもロックは外れます。
- ■最後まで急激な勢いで引き出すと、内部ドラムが必要以上に回転し、リールがロック状態になり巻き戻しができなくなります。
- ■コード先端に取り付けた器具を引っ張らないでください。
コードの折れ曲がりや、器具破損の原因にもなります。また、折り曲げた状態での引き出し操作は行わないでください。スイッチボックスなどの内部結線が外れ、事故につながる可能性があります。
- ■使用中、コードによるつまずき、からまりに注意してください。



4. 巻き戻し操作

使用後、コードを巻き戻す時は、コード出口に対し正面に立ち、両手でコードを掴み、再び6～40cmゆっくり引き出します。ロックが外れたら、コードに手を添えて送り込むように、ゆっくり巻き戻してください。

⚠注意
- ■急激にコードを巻き戻すと体や物に当たり、けがや破損事故の原因となります。
- ■急激にコードを巻き戻すと、コードの乱巻きの原因になります。
- ■コードを巻き戻す際には、必ずリール正面から静かに巻き戻してください。リール横方向から戻すと、コード先端が体や物に当たり、けがや破損事故の原因となります。



5. その他の注意

⚠注意

■リール本体やコードの破損、落下、故障のおそれがあります。下記のような使用は絶対に避けてください。
- ○コードを急激に曲げない。
- ○コードを急激に引っ張らない。
- ○コードを高温･高熱の物に近づけない。
- ○コードを工具や設備等で挟まない。
- ○コードを車両や重量物の下敷きにしない。
- ○コードおよび本体に水やオイル、床洗浄剤、塗装ミストなどを付着させない。
- ○本体に衝撃を与えない。

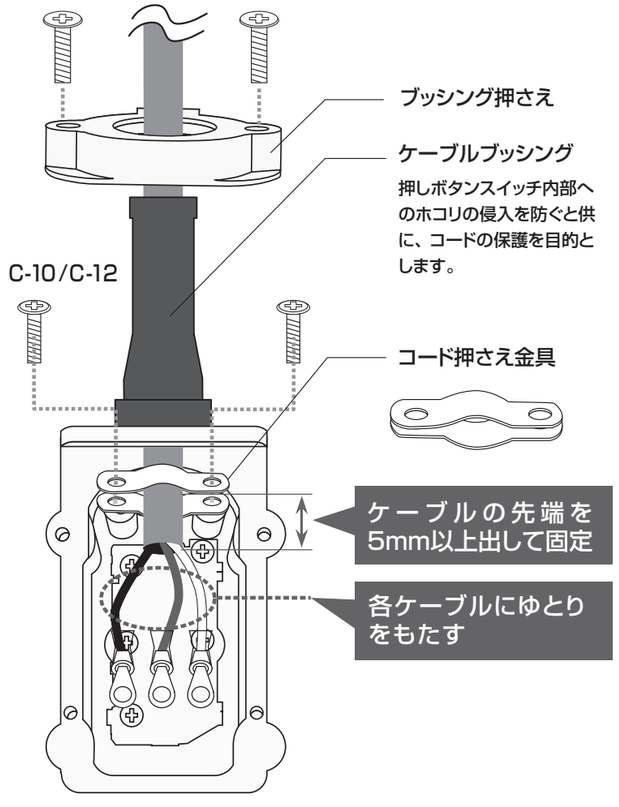
■先端に接続した器具を落とさない。
- ○器具が破損･消耗し接続機器の異常動作により、死亡やけが等の事故につながる可能性があります。

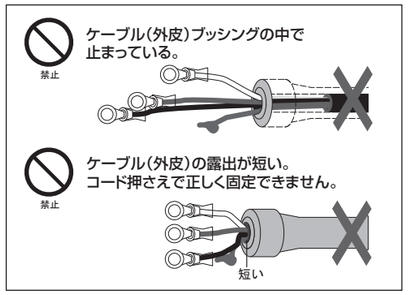
スイッチボックス（オプション）接続方法

⚠警告

- ■保守･点検は、専門知識を有する人が行ってください。
- ■保守･点検は、上位遮断器を切り（OFF）電気がきていないことを確認してから行ってください。感電のおそれがあります。
- ■コード押さえ金具や各端子の組付ビスの増締めを励行してください。
- ■電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
- ■配線作業は、上位遮断器を切り（OFF）電気がきていないことを確認してから行ってください。感電のおそれがあります。
- ■接続する機器の「安全上のご注意」や「取扱説明書」を必ずご確認ください。
- ■スイッチボックスは本体に付属しておりません。販売会社にてご準備ください。
- ■リールに付属するケーブルブッシングを必ず押しボタンスイッチのブッシング押さえを通してからコードを通してご使用ください。
- ■組み付ける時には結線の間違いや被覆のカットで内部コードを傷つけないように慎重に作業してください。

※下記の配線の数はあくまでも一例です。スイッチの種類により接続方法は異なります。





※コード押さえ金具がコード外径より大きいことがあります。お手持ちのゴム板または、テーピング等でコードがずれないよう保護してから固定してください。

コードがケーブルブッシングを通りづらい場合

コード末端に付属する端子の位置をずらしてテーピングするか、または端子部を切り落としてケーブルブッシングを通してから、改めて端子を圧着取付してください。

※必ず定期点検を行い、内結線状況を確認してください。点検の際は接続機器のブレーカーの電源を落としてから行ってください。

メンテナンス

■日常のお手入れ

○定期的にリール本体の損傷、固定や接続の緩みがないか点検してください。

○コード・スイッチボックス等に汚れ（水、ゴミ、油など）が付着した場合は、きれいに拭き取ってください。拭き取りの際は、接続機器を安全に停止させ、全ての電源を切ってから行ってください。

○作業前 / 作業後にコードの点検を行い、局部的な伸び、膨れ、湾曲、キズ、ひび割れ、硬化などがあった場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売会社にご連絡ください。

■定期点検　専門家による定期点検のおすすめ

○リールおよび接続した機器の異常動作があった場合、直ちに使用を中止し、リール販売会社および接続機器の販売会社または両者の製造メーカーにご相談ください。

○定期点検については、 別途専門家による点検の制度がありますので、ぜひご利用くださるようおすすめします。詳しくはお買い求めの販売会社へご相談ください。

○リールの定期点検同様、接続した機器本体や、スイッチなどの器具など総合的な点検をおこなっていただきますようお願いいたします。 詳しくはお買い求めの販売会社へご相談ください。

■電気消耗部品の交換時期目安について

○長期ご使用されますと電気消耗部品の経年劣化や摩耗により火災や感電事故の原因になることがありますので、下記交換時期を目安として定期的な修理・交換の実施をお願いいたします。

ケーブル類（交換目安5年）　**9心フラットコード（交換目安5年）**

修理･交換についてはお買い求めの販売会社へご相談ください。　※上記年数は目安であり保証値ではありません。

故障と処置

故障かなと思われる前にもう一度確認してください。異常が生じたときはこの取扱説明書をよくお読みいただき、下記の点検を行ったうえで、それでも改善されない場合はお買い求めの販売会社へご相談ください。

症　状	原　因	処　置
機器が動作しない	接続機器の電源が入っていない	接続機器の電源スイッチを入れる
	接続機器/スイッチボックスの接続がまちがっている	販売会社へご相談ください
	コードの断線（コードは消耗品です）	コードの交換 販売会社へご相談ください
	接続機器/スイッチボックスの不良	販売会社へご相談ください
	リール内部接点の不良 ※無接点式除く（接点は消耗品です）	接点の修理･交換 販売会社へご相談ください
コードが出てこない	ラチェットの破損	販売会社へご相談ください
コードが巻き戻らない	コードの乱巻き	コードを全て引き出し、手を添えてゆっくり巻き戻す
	コードの引き出し過ぎによるラチェットの引っ掛かり	販売会社へご相談ください
	ゼンマイの破損	販売会社へご相談ください
コードが止まらない	ラチェットの破損	販売会社へご相談ください